

## 東京大学 工学部交換留学 報告書

工学部 システム創成学科 4年

櫻井 瞭

派遣先大学名：ルンド大学（スウェーデン）

派遣期間：2014年8月17日～2015年6月7日

### ・ 留学した動機

入学当初より、東京大学の留学プログラムに参加して、他国の優秀な学生達と勉学に励み、グローバルな視点を身につけたいと考えていました。交換留学プログラムに参加するために必要だった TOEFL iBT のスコアを所得した後、専攻している環境工学に関する見識を深めたいと考え、ルンド大学（スウェーデン）での交換留学に応募しました。

### ・ 留学の準備

#### ①ビザの手続き

基本的にビザの手続きに関しては、大学のスタッフの方々は手伝ってくれないため、自身でインターネットで申請手続き方法について検索し、なんとかスウェーデンでの留学ビザを取得することができました。

#### ②保険

留学ビザ取得のために保険に加入しなければならなかったため、AIU 保険に加入しました。

#### ③日本から持参した方がよいもの

日本製文房具やノートは、海外に比べてかなり質が高いため、少し多めに持参することをオススメします。また、レンジでご飯を炊いたり、他の調理のためにシリコンスチーマーを持参しましたが、こちらも大変便利でした。

### ・ 入学申請

東京大学での審査面接通過後は、与えられた文面に従って手続きを行うのみでした。申請に関しては、大変簡単で、ほぼ問題はありませんでした。

### ・ 学習

#### ①履修した授業科目のリスト

Swedish for Exchange Students, Level 1

Swedish for Exchange Students, Level 2

Environmental Issues

Environmental Issues, Thematic Course  
Patent and Intellectual Property Rights  
Mass Transfer Processes in Environmental Engineering  
Water, Society, and Climate Change

## ②留学中の学習概要

もちろん授業は全て英語で開講され、物理や化学の専門的な学術分野に関しては、これまで英語で学習したことがなかったため、予習復習にたっぷり時間をかけました。

## ③語学

留学前から英語を話す機会が多かったため、スピーキングに関してはそれほど苦労しませんでした。専門用語の語彙に関してはまだまだ知らないものが多かったため、苦労しました。

## ・生活

### ①寮

キッチン、トイレ、シャワー全てが一部屋の中に備え付けられており、東京での一人暮らしとあまり変わらないような施設でした。そのため、同じ寮で暮らしている他の留学生と会う機会がほとんどなく、寮内にあまり友達を作ることができませんでした。

### ②生活環境

日本よりも更にクレジットカードを使えるお店が多く、基本的にクレジットカードを一枚持っていれば、スウェーデンでの生活に問題はありませんでした。また、ルンドはスウェーデンの最南端に位置しているため、北海道くらいの寒さで、冬もそこまで寒さに苦しむことはありませんでした。

### ③危機管理

北欧といえど、日本に比べると治安は良くないため、外を歩く際は常に注意を払っていました。

### ④学習以外の活動

同時期にイギリスに留学していた友人と年末年始は長期の旅行をし、パリ（フランス）、ベルリン（ドイツ）、ブリュッセル（ベルギー）を中心にヨーロッパ特有の風土を楽しみました。

## ・大学院入試準備

学部卒業後は大学院に進学しようと考えていたため、日本から大学院入試に必要な参考書を持参し、24時間オープンの自習室で勉強していました。